



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674
2008年7月27日 No.627

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



後期高齢
保険料

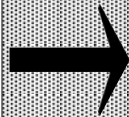
2年後は国保の3倍

保険料が年収の5%「限界です」

今野さん夫婦の場合…

昨年度の国保料(年額)

21,060円
(夫婦2人分)



後期高齢保険料(年額)

平成20・21年度は減額
10,800円
(5,400円×2名)



平成22年度から本来額
75,600円
(37,800円×2名)

これ以上は負担できません。
限界です。



品川区は7月18日、いっせいに後期高齢者医療制度の保険料額を通知しました。豊町4丁目の今野さん夫妻はともに後期高齢者。今年と来年はこれまでの国保料の半分ですが、軽減措置が終わる2年後から国保料の3倍を超える額になります。

自民・公明の福田内閣は、後期高齢者医療の保険料を導入時の平成20・21年の2年間だけ軽減します。しかし、軽減措置が終わる22年度から本来の額を徴収します。

今野さん夫婦は、年140万円ほどの年金でくらしています。軽減措置が終わる平成22年度からは保険料が年7万5千600円に跳ね上がるようになります。昨年度の国保料の3倍超で、年収の5%を超えます。

「老年者控除の廃止など」「小泉改革」が高齢者へ次々に負担を押し付けました。今野さんの場合、国保料は平成15年度は年間960円でした。それが平成18年度に1万9千円余、19年度は2万1千円余へと大幅値上げ。自民・公明はこれをさらに3倍に増やそうというのです。

電話がつながらない！

戸越3丁目の山下さん(仮名)は、7月18日に後期高齢者医療の保険料通知を受け取りました。

社会保険の扶養家族の山下さんはこれまで本人の保険料負担はありませんでしたが、後期高齢者医療になると新たに保険料を負担しなければなりません。

ところが、届いた通知は文字が小さくてワケが分からない。そこで翌19日の土曜日、区役所に電話しましたが、いくら呼び出してもつながりません。しかたなく後日、電話することにしました。

山下さんは、「保険料を安くするのは選挙の前だけ。自民と公明はズルイ。けしからん！」とカンカン。



画期的！ 後期高齢医療の廃止を！ 区内22団体連名で請願

自民・公明が導入した後期高齢者医療制度に「うば捨て山」と怒りが爆発。日本共産党と野党共同提出の同制度廃止法案が参院で可決しました。一方、品川区議会にも区内22団体が廃止を求めて請願を提出しました。

この区議会請願は、品川の医 権守光夫ゆたか診療所(所長)な療と介護をよくする会(代表) どの区内22団体が連名で提出した

もの。主な団体は、ゆたか診療所、城南保健生協、品川生活と健康を守る会、品川地区労、東京都建設、東京土建品川支部など区内建設4組合、新日本婦人の会品川支部、三ツ木診療所、

品川民主商工会、日本共産党品川地区委員会などです。

これだけの団体が連名で請願を提出したのは画期的。後期高齢者医療制度の廃止を望む区民の強い願いの表れです。

後期高齢医療制度

推進する自民・公明 ひろがる反対の声



この請願は6月23日の厚生委員会で審議されました。日本共産党と民主党が賛成しましたが、自民党と公明党が反対し3対4で否決されました。7月3日の本会議では共産党のほかに生活者ネットが賛成、民主は6人のうちの3人が賛成しました。

厚生委員会の審議で、自民党(鈴木真澄議員)は「この制度を維持すべきだ」、公明党(堺直隆議員)は「後期高齢者医療制度については必要である」とのべ請願に反対しました。

後期高齢者医療制度は中曽根

元首相、野中元自民党幹事長、塩川元財務大臣など自民党の名だたる閣僚経験者も反対しています。野党が共同提出した後期高齢者医療制度の廃止法案は参院で可決。衆議院でも通る可能性が広がっています。

日本共産党は、高齢者を差別する医療制度の廃止に向けて国会でも地方議会でもがんばります。力をあわせましょう。

困りときはお気軽にご相談ください
みやざき克俊事務所
TEL 378616674

